

## I - ② - (2) 小学6年生と中学3年生合同の英語授業

令和元年度より、小中一貫教育の取り組みの1つとして、附属坂出小学校の6年外国語科の授業すべてに、中学校の外国語科教員がT2として入って学習を進めている。授業を通して、6年生は中学校教員の本格的な英語による話を常に聞くことができ、小学6年生はこれまで以上に英語への関心を高めている。

そのような中、12月13日(金)に、小学6年生と中学3年生が合同で英語の授業を行う交流学习を実施した。

小学6年生にとって、いつも外国語科の授業で接している中学校教員による中学校での授業に参加することは、とても刺激的で中学校での英語学習に期待を膨らませることになる。さらに、中学生との交流によって、学ぶ姿勢や技能の高さを実感し、英語学習へのさらなる意欲を喚起させることが期待できる。中学生にとってもメリットは大きい。先輩として学習をリードするとともに、今まで以上に小学生に対して進んで英語で話そうとする。楽しい雰囲気の中で、意欲的で活発な英語での語り合いが見られ、実りの多い交流学习となった。



少し緊張する中で小学6年生と中学3年生による合同の英語授業がスタート



「セルフイントロダクション(自己紹介)」の場面では、すぐに和やかな雰囲気になる



「キーワードゲーム」の場面では、小中のペアで体を使いながら楽しく活動



「イントロダクション オブ クラブアクティビティーズ(部活動紹介)」の場面では、英語を使って語り合い



熱心に中学生の英語を聞き取る小学6年生



優しく分かりやすく英語で話す中学生



## 中学生の声(一部)

・自己紹介では、小学生がレベルの高い英語を使っているのに驚きました。僕が予想していたよりも積極的にコミュニケーションをしてくるので、先輩である僕が負けてしまいそうでした。部活動紹介では、僕たちは分かるけれど、小学生にとっては難しい単語や文法を使っていました。でも、「1つでも聞き取ろう」「質問に答えたい」という気持ちが伝わってきました。英語は、こういった姿勢からコミュニケーションを深めていくのだと感じることができた経験でした。

・小学6年生なのにたくさんの文法を覚えていてとても驚きました。僕が6年生の時の英語の授業は、ほとんど遊び感覚で、英語に慣れ親しもうというものだったので、今の6年生は本当にすごいなと感じました。このことから、英語が将来的に大切になっているのだと思いました。小学生がどこまでの英単語を知っているのかを話しながら理解するのが難しかったです。でも、ほとんど理解しているみたいだったので、自分も追いつかれないように英語に力を入れて勉強していきたいです。

・小学生と英語で交流する機会はなかなかないので、自己紹介やゲームなどで英語でコミュニケーションをとることができて、とても楽しかったです。分からない単語もたくさんあったと思うのに、真剣に聞いてくれて、英語が好きなんだな、ということが伝わってきました。また、小学生の英語の発音がきれいでとても驚きました。中学生になると勉強が難しくなると思うけど、今の英語が好きという気持ちを忘れないでほしいです。

・附坂小6年生と初めて英語の授業で交流しました。日本語で最初に少し会話したけれど、緊張していたお互いに話が進みませんでした。でも、英語で自己紹介をした時は、楽しく話ができるようになりました。そして、キーワードゲームを通して、とても仲良くなれました。部活動紹介の時、英語で言って分かってくれるか心配したけれど、真剣に聞いてくれ、質問もしてくれてとてもうれしかったです。英語には、人と人を結びつける力があると強く思いました。

・普段の授業では、友達同士なので、英語でなくてもいいかなと思ってしまいがちですが、小学生にバスケット部に入ってほしいという思いが強く、相手に真剣に聞いてもらうためにも「英語を使わなくてはいけません」という気持ちになりました。今後も機会があれば、このような授業をしてほしいし、逆に僕たちが高校生に学びに行く機会もぜひほしいと思いました。何より小学生ががんばって英語を聞き取ろうとしてくれてとてもうれしく思いました。

・たった1時間でしたが、すごく充実した時間を過ごせたように思います。小学生の発音を聞いての率直な感想は、「レベルが高い」ということです。私が小学生だった時、こんなにいい発音はできていませんでした。逆に私の方が正しい英語について学ばせてもらったような気がします。一番印象に残ったのは部活動紹介です。私たちが英語で曜日や部員数を話すと、小学生たちは相談しながら考えて、一生懸命に理解しようとしていました。その姿は、本当にキラキラしていました。やっぱり英語には人と人をつなぐ力があるんだと実感しました。

## 小学生が中学校の英語授業に参加して(アンケート調査より)

### 1 参観して楽しみに思うことはありましたか？

はい 45人    どちらかといえばはい 14人    どちらかといえばいいえ 4人    いいえ 1人  
肯定的回答率(はい, どちらかといえばはい92.2%)

#### <回答した理由の自由記述>

- 英語で部活など中学校生活のことが分かり楽しみになった 17人
- 知らない文や単語が出てきて楽しみになった 16人
- 中学生と英語で質問合ったり一緒にゲームをするのが楽しかった 15人
- 中学生の上手な発音が勉強になった。そうになりたい。 6人
- もっと厳しいと思っていたが雰囲気楽しそう 9人
- 先生が分かりやすく教えていた 4人
- 英語は苦手で不安 3人

#### <考察>

ほとんどの児童が楽しみを感じている。理由は、①部活などの中学校生活に関すること②中学校英語の単語や会話への知的好奇心③中学生との交流学习④雰囲気⑤中学校教員の指導の順であった。小中コラボ授業やガイダンスの成果と考えられる。

### 2 参観して不安に思うことはありましたか？

はい 14人    どちらかといえばはい 22人    どちらかといえばいいえ 4人    いいえ 23人  
不安感保持率(はい, どちらかといえばはい57.1%)

#### <回答した理由の自由記述>

- 単語や英会話が難しそう 26人
- 単語量が多い。覚えられない。 4人
- ついていけない 4人
- あんな中学生になれるか不安 3人

#### <考察>

楽しみと同時に不安感を感じている児童も57%いる。内容は未知の中学校英語の内容に関する不安感である。また、3名の児童が中学生の立派さに自分を置き換えたときに不安感を抱いている。

今後は、中学生が立派なのは当たり前、「きっとあなたもなれるよ」というガイダンスも個別には必要。